

渋川看護専門学校 COVID-19 感染予防対策・感染予防行動

(2022.11.9 変更)

- (1) 手指消毒・マスクの着用を徹底する。
 - ①同居家族以外の人と接する時はマスクを着用する。マスクを外した状態での会話は避ける。
 - ②マスクはその効果を得られるように着用する。
 - *顔にフィットするサイズ・形のものを選択し、鼻から顎までを覆い、鼻の形にワイヤーを折り曲げて隙間をなくす。
 - *せきやくしゃみによる飛沫を遮断する効果が高い「不織布マスク」を選択する。
 - ③まめに手洗い・手指消毒をする。
 - ④共有物使用の際は、前後の手指消毒と、使用後の物品の清拭（所定の方法）を励行する。
- (2) 同居家族以外の人と**会話する際**の距離をできるだけ2m(最低1m)空ける。学校内においても、距離を確保する。「密閉」「密集」「密接」をさける。エアコン使用中も換気をする。
- (3) 学校生活以外での、人との接触を減らす。
(参考：人との接触を8割減らす10のポイント、新しい生活様式の実践例、感染リスクが高まる「5つの場面」)
- (4) 同居家族以外の人との会食は避ける。学校での昼食は、各自の車中等、個別で摂取する。
- (5) 通院や食料品・生活用品の買い物等、必要時以外は、不特定多数の人が訪れる施設の利用は**できるだけ控え**、利用する施設や店舗が「業種ごとに策定された感染拡大予防ガイドライン」を実践していることを見極める。
- (6) レストラン、ハンバーガーショップ、フードコート等 飲食店での飲食は控え、持ち帰り、デリバリーを利用する。
- (7) 医療機関の奨学生を含め、アルバイトは全面禁止とする。
- (8) 各学年が使用するスペースを現行通り、原則限定する。
- (9) 自身および同居家族の体調の把握に努める。学校指定の「体調確認表」の各項目について、毎日正確に記録する。(体調記録・行動記録は証明書類となる)
- (10) 鼻汁、頭痛、倦怠感、くしゃみ、咽頭痛、発熱 等の風邪症状、味覚や嗅覚の異常、下痢 等がある時には学校に連絡する。安易に解熱剤等を服用しない。同居家族や濃厚接触した人に同様の症状がある時にも学校に連絡をする。自分または家族に、上記の症状がある時には、医師の診断結果が出るまでは家庭内でもマスクを着用し、食事は別に摂る。
- (11) **同居家族に、必要な感染予防対策を正しく伝え、協力を得る。**
- (12) 「体調に変化がある方」「感染予防行動がとれなかった方」「外出の自粛ができなかった方」は、必ず登校を控える。併せて、その旨を学校に電話連絡する。

(2022年11月9日 通知)